

各地の山岳環境保全に関する 取り組み事例

1. 霧島屋久国立公園（屋久島山岳部）～携帯トイレ～
2. 中部山岳国立公園（長野県）～登山道維持補修～
3. 磐梯朝日国立公園（飯豊連峰・朝日連峰）
～協議会組織による登山道維持補修～
4. 大雪山国立公園
～ROS を取り入れた登山道管理水準等策定～

1. 屋久島山岳部における携帯トイレの導入について の事例 (HP より)

屋久島山岳部のトイレ事情…

- 【自然環境への悪影響】 野外での用足しによる環境負荷
- 【利用環境への悪影響】 混雑時の長い待ち時間、悪臭、トイレ痕の目撃
- 【維持管理面への負担】 故障の多発、維持管理費用の増大

▼ 携帯トイレ導入概要

<対象者>

- ・ 宮之浦岳登山者、その他縦走者などの長期間入山される方
山中のトイレの場所は限られています。是非携帯トイレを持参してください。
- ・ 縄文杉登山者
ルート上にトイレはありますが、し尿搬出コストの軽減や万が一の時にそなえて、ご利用ください。

<携帯トイレブースと回収箱の設置箇所>



<携帯トイレの使用手順>



<携帯トイレ使用に際しての注意事項>

- 携帯トイレ使用のルール
 - 必ず便座に携帯トイレをセットして！
 - 使用済みの携帯トイレは必ず回収箱へ。
 - 回収箱には携帯トイレ以外は絶対に捨てないで！
- 携帯トイレの販売

島内の登山用品店、土産物屋、ホテル、レンタカー店、観光案内所等で販売しています。

(1パック入:400円 2パック入:500円)
- 使用済み携帯トイレの回収

使用済み携帯トイレは、登山口と屋久杉自然館前に設置している回収箱に捨ててください。里まで持ち帰ってしまった場合は、燃えるゴミとして廃棄してください。
- 携帯トイレに関するお問い合わせ

屋久島自然保護官事務所 [TEL:0997-46-2992](tel:0997-46-2992)



※ 国内で最も携帯トイレが普及しているのは利尻山といわれている。

『屋久島ゴールデンウィーク携帯トイレ導入試験』実施について

2009.04.10 九州地方環境事務所

その核心部が世界自然遺産に登録されている屋久島の山岳部では、登山者の増加により、自然環境への影響が懸念され、中でもトイレのし尿処理や長い待ち時間、悪臭などが問題となっています。

屋久島山岳部利用対策協議会では、問題の解決に向けた検討を行っており、今後、関係機関が山岳部のトイレの改修・整備を進めていくとともに、し尿の全体量の削減が不可欠であることから、登山者自らがその排泄物を持ち帰る「携帯トイレ」の導入も並行して進める方針です。

このため、携帯トイレの導入に向けた検討の材料を得ることを目的として、5月2日～5日のゴールデンウィーク期間中「携帯トイレ導入試験」を実施します。

導入試験では縄文杉に近い高塚小屋などに携帯トイレブースを設置するとともに、荒川登山口等で登山者に携帯トイレの携行・使用の広報活動を行います。その結果を踏まえ、常設の携帯トイレブースの設置場所や規模、携帯トイレの販売手法、使用済み携帯トイレの回収手法等について更なる検討を行い、屋久島山岳部のトイレ問題の解決に向けて、必要な施設等の整備を進めていく予定です。

1. 携帯トイレ導入試験の概要

- (1) 日時 平成21年5月2日(土)～5月5日(火)
- (2) 対象 縄文杉・宮之浦岳登山者、ヤクスギランド・白谷雲水峡利用者
- (3) 実施者 屋久島山岳部利用対策協議会
- (4) 概要

ゴールデンウィークの荒川線車両乗入れ規制に伴うシャトルバス運行にあわせて実施。

高塚小屋など11箇所の常設携帯トイレの整備候補地に仮設携帯トイレブースを設置し、携帯トイレの使用頻度等を把握し、今後の常設の携帯トイレブースの設置場所や規模を検討する。

使用済み携帯トイレの回収は、荒川登山口など4箇所の登山口及び屋久杉自然館前に設置する回収箱にて行う。

※使用済み携帯トイレの回収は5月6日(水)まで。

期間中は、登山口や携帯トイレブース前に指導員を配置するとともに、登山口にて下山者からの携帯トイレ使用に関するアンケート調査を実施する。携帯トイレは島内の登山用品店、土産物店、ホテルで販売するとともに、試験期間中は、登山口においても販売予定。

その他、携帯トイレブース/使用済み携帯トイレ回収箱の設置位置等については、別添のリーフレット案を参照。

(5)関係機関合同 PR 活動

初日の5月2日(土)5:30~7:30の間、荒川登山口において山岳部利用対策協議会の関係者合同で、登山者に対する携帯トイレ導入試験のPR活動を実施。

2. (参考)屋久島山岳部利用対策協議会について

屋久島の世界自然遺産登録(平成5年12月)を契機とした山岳部への入込者の増加に伴い、自然環境への影響や登山者の集中による問題が懸念されたことから、それらの問題を解決していくことを目的として平成6年に設けられた組織。これまでは混雑期における荒川登山口・縄文杉での登山者指導、“登山者のためのマナーガイド”の作成、マイカー規制の検討、屋久島山岳部保全募金の検討等を行ってきた。現在、山岳部トイレのあり方やトイレ等の管理費用負担問題等を検討中。

【構成】

屋久島森林管理署、屋久島森林環境保全センター、屋久島自然保護官事務所、鹿児島県自然保護課、鹿児島県観光課、鹿児島県熊毛支庁屋久島事務所、鹿児島県屋久島警察署、屋久島町、屋久島町議会、(財)屋久島環境文化財団、(社)屋久島観光協会、鹿児島県レンタカー協会屋久島支部

3. 問い合わせ先

【屋久島ゴールデンウィーク携帯トイレ導入試験】

九州地方環境事務所屋久島自然保護官事務所

【その他屋久島山岳部利用対策協議会に関する事項】

鹿児島県熊毛支庁屋久島事務所総務課

2. 中部山岳国立公園における山小屋の取り組みの事例

「信州の登山道リフレッシュ事業」

北アルプス山小屋友交会「2008年度北アルプス南部地域登山道維持・補修の報告」より引用。

北アルプス山小屋友交会では、登山道をご利用された皆様からの募金などを活用し、昨年の夏から秋にかけて、北アルプス南部地域（長野県内）の登山道の維持・補修作業を行いました。

この作業は、登山道を利用される皆様（登山者・来山者）・行政（長野県）・山小屋関係者の各者が連携して登山道の維持・補修を行うという主旨で、平成17年度から長野県の補助事業として始まった「信州の登山道のリフレッシュ事業」により実施いたしました。事業の実施主体である当組合では、組合に属する山小屋のうち、23箇所募金箱を設置し、任意の協力金という形で登山道をご利用された皆様から募金を募りましたところ、合計で306,957円もの募金をお寄せいただきました。又、今年は、企業協力金をお願いし、900,000円をいただきました。

この募金と県の補助金等と、当組合関係山小屋負担分を加えた合計382万円強の事業費をもとに、当組合で登山道の維持・補修に必要な資材等（丸太・板材など）及び機材を購入し、北アルプス南部地域（長野県内）の槍沢と常念岳一の沢で山小屋関係者による維持・補修作業を実施いたしました。

また、一昨年雪崩により倒壊して小屋のなくなった岳沢地区に簡易公衆トイレの設置に協力をいたしました。

さらに本年は、本事業PRのためのポスターおよび英・中・韓併記の本事業PRと安全対策・マナー啓発のためのパンフレットを制作いたしました。

皆様からの募金によって、登山道の維持・補修が完了しましたことに心より厚く御礼申し上げます。

※中部山岳国立公園においては、国立公園事業としての歩道の整備を、環境省と各県が行っている。しかし、管理者が定まっていない区間も多く、これらについては整備が進まないため、上記の事業（山小屋のボランティア）や環境省のグリーンワーカー事業等で維持管理を実施しているのが実態である。

信州の登山道リフレッシュ事業について

長野県生活環境部 自然保護チーム

1 事業概要

事業名	予算額 [17年度予算]	事業内容
信州の登山道リフレッシュ事業 【信州モデル創造予算】	【補助金】 300万円 [100万円]	<p>山岳環境の保全や登山者の安全を確保するため、管理者が不明確な登山道の日常的維持・補修を、登山道利用者からの協力を活用して、山小屋等関係者と県が連携して実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施山域：長野県内の自然公園全域 ・補助対象：登山道の維持・補修に必要な資材等の購入費 ・協力金：目標金額300万円 ・補助率：1/2

2 事業のフロー



3 平成17年度実績

事業主体	補助対象事業費		事業箇所数 (登山道の路線数)	事業内容
		うち補助金		
北アルプス北部山小屋組合	1,000,000 円	500,000 円	2 箇所	大天井岳周辺の登山道補修 他
北アルプス山小屋友交会	1,000,000 円	500,000 円	4 箇所	唐松岳周辺の登山道補修 他
計 2団体	2,000,000 円	#####	6 箇所	



信州の登山道整備に 力を貸してください！

〈信州の登山道リフレッシュ事業〉

■事業目的

登山道の整備は山小屋関係者が自己負担で行っております。登山をされる皆様からの寄付を整備に必要な資材費の一部に充てています。

■協力方法

各山小屋にリフレッシュ事業の募金箱が置いてありますので、そこにご寄付願います。企業からの寄付も受付中です。詳しくは下記連絡先まで。

■連絡先

長野県庁自然保護課 TEL(026)235-7180(直通)
Mail: shizenhogo@pref.nagano.jp



大キレット登山道整備作業



黒本峠登山道整備作業

大キレット登山道整備作業

- 事業主体 ■ 長野県／北アルプス山小屋友交会（会員：西穂山荘、穂高岳山荘、北穂高小屋、瀧沢小屋、瀧沢ヒュッテ、横尾山荘、穂沢ロッジ、槍ヶ岳・殺生ヒュッテ、ヒュッテ大池、槍ヶ岳山荘、南岳小屋、ヒュッテ西岳、中房温泉、燕山荘、安曇野市大天荘、大天井ヒュッテ、常念小屋、養ヶ岳ヒュッテ、大滝山荘、焼岳小屋、御中峠小屋、上高地西赤尾山荘、新穂尾の小屋、金山ヒュッテ）
- 協力企業 ■ 直富商事(株)／大栄産業(株)／(株)トライアン／アウトアステーションバンバン
NPO法人北アルプスブロードバンドネットワーク